



# 学校だより 本郷

令和4年(2022) 7月号  
松本市立本郷小学校

新年度がスタートして早いもので4カ月が過ぎ、本日一学期の終業式をむかえることができました。子どもたちは、様々な行事や毎日の学習や生活を通して大きく成長しました。これも保護者の皆様や地域の皆様のご支援ご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

明日からは31日間の夏休みとなります。心身ともにリフレッシュし、有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。2学期の始まりの8月23日(火)に、元気な子どもたちに会えるのを職員一同楽しみにしています

## .....一学期終業式の校長講話より.....

まずは、今日予定していました金管バンド部の皆さんによる演奏発表についてですが、新型コロナウイルス感染症の影響で行うことができませんでした。毎日の練習においても、ここに至るまでに、全員で集まって、音を揃える練習がなかなか取れなかったのではないのでしょうか。それでも限られた練習時間の中でも、気持ちを切らさず、みんなで協力して、毎朝、練習に取り組んでいましたね。校長先生は朝、音楽室から聞こえてくる皆さんの演奏を聴いて、毎日元気をもらっていました。あるときは音楽にのって、自然と体が動いて踊っていたこともありました。きっと、他のお友達も校長先生と同じように元気をもらっていた人がいたのではないのでしょうか。

また、夏休みが明けた2学期の何処かで、皆さんの演奏を全校で聴ける機会を用意できたらと思います。それまで楽しみにしていますね。

さあ、今日で73日間の一学期が終了します。この一学期を振り返ってみて、皆さんは、どんな一学期でしたか？

一年生の皆さんは、入学式の時から比べると、少しずつ小学校生活に慣れ、今は1年生のお友達はもちろんですが、2年生から6年生までのお友達もたくさんできたことでしょう。また、6年生は、最高学年としても、本郷小学校の顔としても、児童会活動はもちろん、全校のみなさんを引っ張り、学校生活の全ての場面で、全校のお手本になる素晴らしい姿を至る所で見せてくれていました。特に毎日の「あいさつ」・「そうじ」は、気持ちを込めて誠心誠意打ち込んでいました。頼もしい限りです。2年生から5年生の皆さんも、学年が一つ上がり、心も体も一回り成長した姿が、学習や行事などの様々な場面で感じられました。

今、お友達を代表して、3年のりこさん、ひなたさん、5年のこうさん、ゆいりさんが一学期にがんばったことを発表してくれました。「学級クラブと水泳学習のこと」「漢字学習と松本手まりのこと」「高原学習のこと」と、4人のお友達が色々なことを頑張ってきたことがわかりました。また、ただ頑張ってきただけではなく、様々な活動を通して、できなかったことができるようになったり、協力することの大切さを学んだりしていることがとても素敵だなと思いました。さらに、すでに2学期への目標も持っている所もすごいなと感心しました。発表を聞いていた皆さんも、きっとそれぞれに頑張ったことがあったと思います。

さて、今日は少し難しいかもしれませんが、劣等感(コンプレックス)についてお話をします。少し前に、「校長先生、私には他の友達よりも自信の持てることやできることがなくて悩んでいます。」と話してくれたお友だちがいました。

みなさんは、このお友達のように、自分は他の人と比べてできないことがあるとか、ダメなところがあるとかと思ったことがあるでしょうか。例えば、「ぼくはAさんに比べて運動ができない」とか、「わたしはBさんと

比べて勉強もできないしピアノも下手だ」とか思うことです。このように感じることを劣等感と言います。劣等感、実は誰もが持っています。劣等感を持っていない人はほとんどいません。

ですから、もしかしたら皆さんの中には、そういう劣等感から悲しくなったり、元気をなくしてしまったり、頑張ろうとする気持ちが小さくなってしまったりしている人がいるかもしれません。でも実は、この劣等感があるから、人は頑張ることができるのです。

ドラえもんの声が一番初めに担当した「大山のぶ代」さんという人のお話をします。

子どもから大人までたくさんの人に愛されているドラえもんの声を担当した大山のぶ代さん。実は大山さん、その個性的な「声」がコンプレックス、つまり自分ではすごく嫌だったんだそうです。「声がおかしいってみんなが笑うの・・・」「ヒソヒソみんながわたしを見て笑っている」中学生になった時、同級生から「お前の声はおかしい」と言われてとても思い悩んでいました。自分の声が嫌だな、しゃべるのが恥ずかしいなと思っている時に、大山のぶ代さんのお母さんにこう言われます。

「あのね。目でも、手でも、足でも、そこが弱いと思って、弱いからといってかばってばかりいたら、ますます弱くなっちゃうのよ。弱いと思ったら、そこをドンドン使いなさい。声が悪いからって、黙ってばかりいたら、しまいには声も出なくなっちゃうわよ。あなたらしくもない。明日からドンドン声を出すように、何か声を出すようなクラブへ入りなさい。そこで声をたくさん出して、いくらかでも人様が聞き取りやすい声の出し方、お話の仕方を覚えなさい。」と。

お母さんの励ましもあって、それから、中学の3年間は放送部に所属しました。最初はバカにする人もいたけれど、自分で自分の声を「この声でいいんだ」と思えるようになったそうです。大山さんは、過去を振り返って、「他人がどう思うかではなく、これはわたしにしかない個性なんだ」と気づけたことで、自信が持て、劣等感を克服でき、そのことが、将来的にみんなから愛される「ドラえもん」の声を担当する道につながったと話しています。

はじめに話したように、劣等感というのは誰にでもあります。

みなさんも、「自分は他の人に比べてここがダメだな」「ここが他の人のようにこうだったらいいのにな」と思って、少し悲しい思いをしたり、やる気がなくなったりするかもしれません。しかし、大山のぶ代さんのように、上手いかななくても、できないことがあっても、他人と比べることなく、自分のことをダメだなんて思わず、もっと自分を信じて、くじけずに、ちょっとしたことでも、できたことや上手くいったことをコツコツ積み重ねていってほしいと思います。

さあ、いよいよ明日から夏休みが始まりますね。今、みなさんは夏休みが楽しみで楽しみで仕方がないと思います。夏休みになったら何をしようかなとわくわくしている人もいるでしょう。夏休みになったら親戚のお家に行く予定のある人もいるでしょう。どんな自由研究をしようか、何して遊ぼうかと、いろいろ計画を練っている人もいるでしょうね。

みなさんの夏休みが、豊かで楽しい夏休みになることを校長先生も願っています。8月23日に、元気に笑顔で、また再開しましょう。おわります。

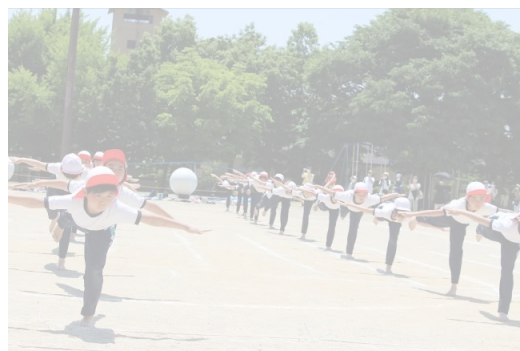


**健康と安心安全を第一に！！**



## プレイバック 体育参観

6月2日(木)には体育参観がありました。子どもたちの成長の姿を見ていただくことができました。行事を通して、子どもたちは様々なことを学ぶことができました。



## お天気に恵まれた水泳学習



昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の為、プールに入ることもままならなかった年でしたが、今年はお天気にも恵まれてたくさんプールに入り、水の楽しさを味わうことができました。

## コロナ禍でのつながり 地域の方に支えられて

### 特別支援学級のぶどう作り



### 雅楽演奏会（5・6年生）



### 読み聞かせボランティア

この他にも、書道、手芸クラブ、囲碁・将棋クラブ、松本手まり、5年生の美ヶ原高原登山、6年生の地層学習などなど、たくさんの方にお世話になりました。専門的なことを教えていただき、子どもたちは目をキラキラ輝かせて活動していました。2学期のはじめには、遊べる水辺づくり推進委員会の方に、2・3年生の女鳥羽川観察会でお世話になる予定です。

### 【お知らせ】

- 「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金」に関わる通知をお配りしました。ご参照ください。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いています。夏休み中も引き続き感染予防に努め、健康に留意してお過ごしください。
- 交通安全に気を付けましょう。